

立たれ東沙林に豊力の郷民もおかを和らぐ引られて引
色に見へられ東沙林成敗味方の公なりまゝ今一戦して
酒田の陣を奪う取らんをやりまゝ敵一万人余の大勢
味方郷民郷民の者を傳う一千余に中く勝利を得べき
道にあらざれどもかゝる評一敗も戦ふものあらばあきら
ま切もかゝる式と守りまゝ敵を責むるも柵を守
りて討陣して寧ろ日を暮らすもとぞや 或る調子
れは打出さるる力なく只救打して雌雄を必さんと謀
りくまに又酒田勢に以て軍味方勝利の上は東沙林元
中何程のありある後詰の事ども討取ると利意濃し

かりけれ東沙林に亦大まは形勢を刃を以て方より打出たハ
只敵の的に成りて討たまし又いまは日敵を獲る味方兵糧
屋を鉦自山の山城豊東ありと思ひ方雄の二日後に勝福
坊源範とを招きて昔坊今夜固を強めて敵の後に回り
東漸寺の柵に忍び入火の事を付け鯨波勢を付けたまひ
我等相手を合を出入しし幸ひ東漸郷の池田永田同井
隆交等と無てより味方の志さし有り先亡右馬頭は就中契あ
りとてともんを敵に催されりし方及ふ若田郷を存して
便宜能く味方に同意するものゆゑ危角得りえむと云へ
る源範領事と物に別し兵に農民に出させ流瀬街